







道内の感染状況等について (案)

【令和3年11月30日】

主な指標の状況

	感染状況			医療提供体制等の負荷			
	10万人あたり 新規 感染者数	感染経路 不明割合	PCR 陽性率	医療の逼迫具合			10万人あたり 療養者数
				入院医療		重症者用病床	
				病床使用率	入院率	病床使用率	
全道 (11/29)	1.5 人/週 (79人/週) 	35.4% 	0.7% 	2.9% (57床) 	—	1.5% (2床) 	3.0人 (157人) 
道ステージ2基準 (国ステージII)	2人/週以上 (10万人あたり)	50%以上	増加	増加	—	増加	増加

※()は実人数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

※入院率は、入院できない自宅療養者数の増加等を把握するための指標であり、療養者数が10万人あたり10人以上の場合に適用。

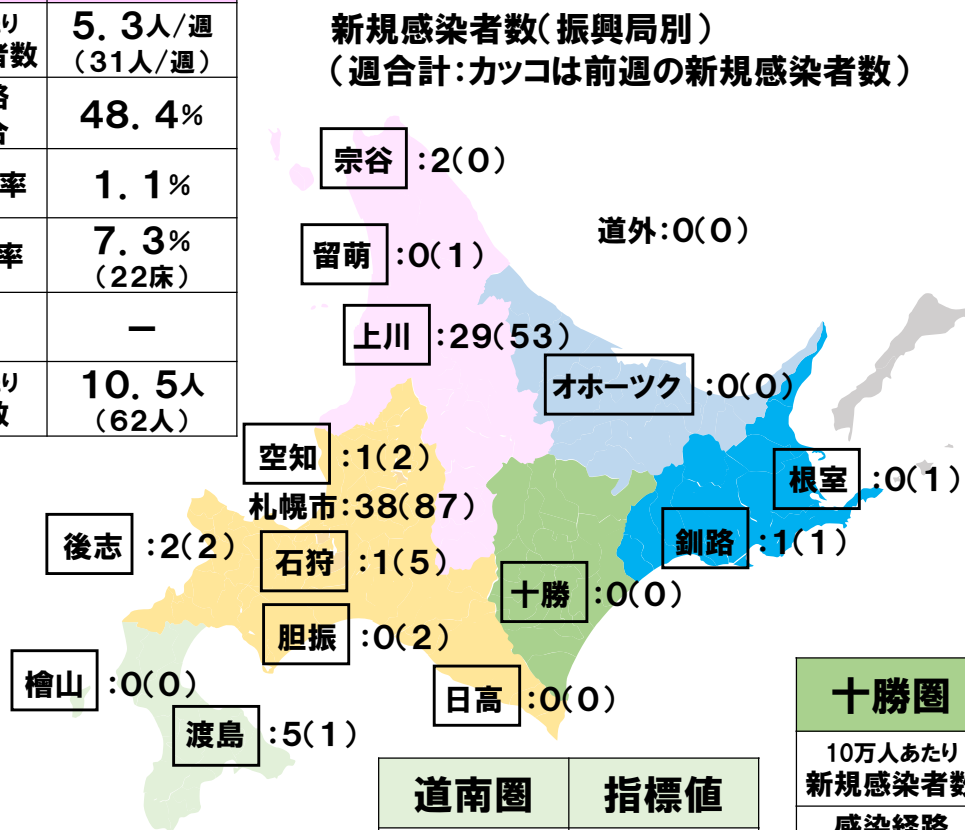
地域における主な指標の状況

【11/29現在】

札幌市	指標値
10万人あたり新規感染者数	1.9人/週 (38人/週)
感染経路不明割合	21.1%
PCR陽性率	0.7%
病床使用率	4.0% (23床)
入院率	—
重症者用病床使用率	2.1%
10万人あたり療養者数	4.0人 (78人)

道央圏 (札幌市除く)	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.3人/週 (4人/週)
感染経路不明割合	75.0%
PCR陽性率	0.2%
病床使用率	0.9% (4床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.6人 (8人)

道北圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	5.3人/週 (31人/週)
感染経路不明割合	48.4%
PCR陽性率	1.1%
病床使用率	7.3% (22床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	10.5人 (62人)



道南圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	1.2人/週 (5人/週)
感染経路不明割合	20.0%
PCR陽性率	1.7%
病床使用率	3.0% (6床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	1.4人 (6人)

十勝圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床使用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

オホーツク圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床使用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

釧路・根室圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.3人/週 (1人/週)
感染経路不明割合	100%
PCR陽性率	0.6%
病床使用率	1.0% (2床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	1.0人 (3人)

※地域別の感染状況や医療提供体制等の負荷は、変動が大きくなる場合があることに留意。 2

総 評

【感染状況】

- 全道の新規感染者数は、6日連続で先週比が減少。札幌市及び旭川市の感染者数が全道の数を押上げている状況が継続(全道の8割超)。

【医療提供体制】

- 療養者数、入院患者数については、横ばいで推移。

【ワクチン】

- 道民の79%が1回目接種を終え、76%、400万人を超える方が2回目接種を終えた。

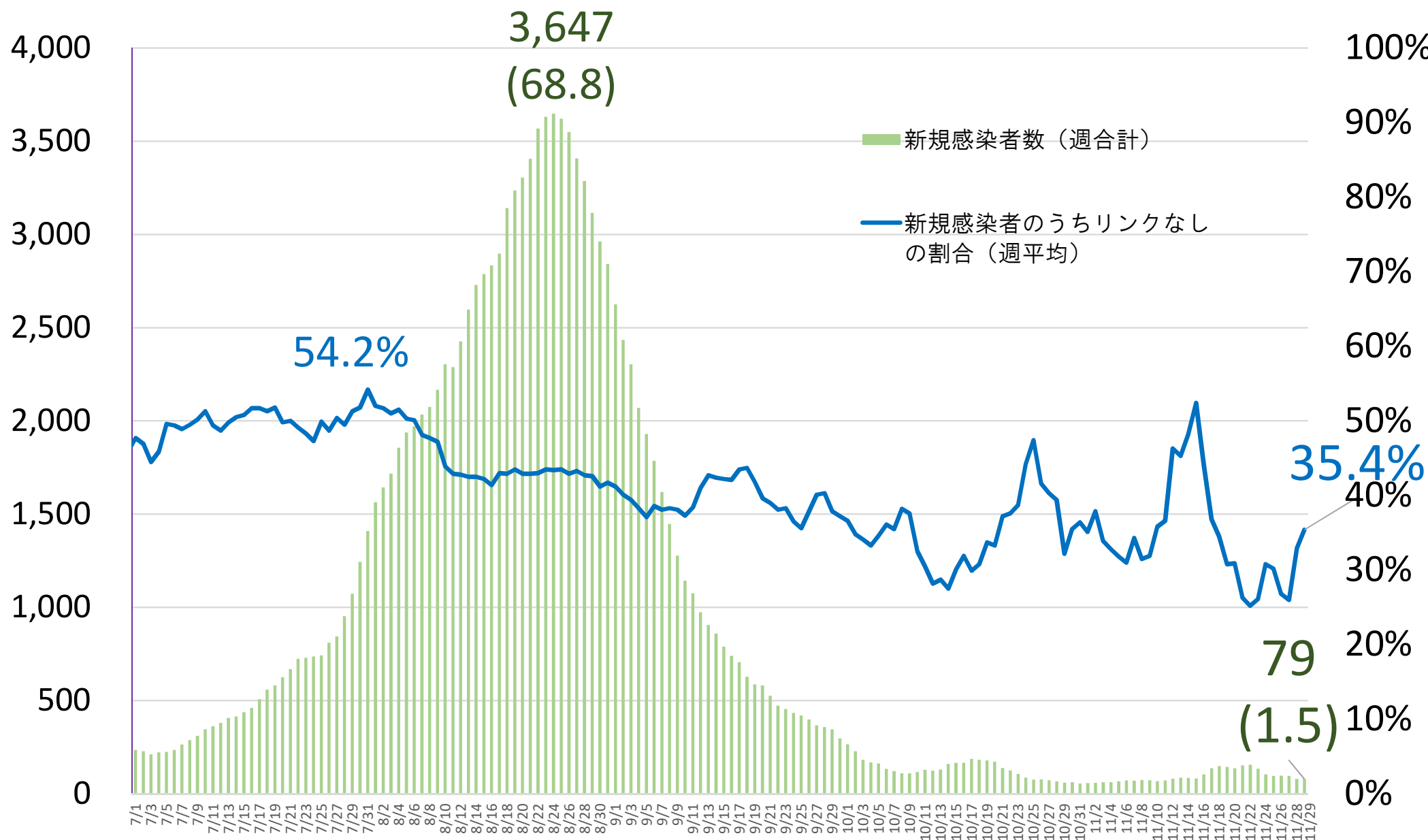
【今後の対策】

- 「オミクロン株」については、国立感染研が「懸念すべき変異株」に指定し、国は、全世界からの外国人の入国を原則停止することを決定。道としても、情報収集を進め、ゲノム解析などにより、変異株の早期探知・早期介入に向けた体制を整える。
- 年末年始の忘年会等の行事により、普段会わない方と会う機会等も増えることから、いつもと体調が違ふと感じたときには、外出等を控え、積極的な診療・検査を受けるなど、感染防止行動の実践を呼びかける。
- 今般、「保健・医療提供体制確保計画」を策定したが、医療機関別の確保病床数等の公表方針などが国から示されたことから、医療機関と再度、調整した上で、確保病床数を速やかに確定する。
- 新たなレベル分類の導入の検討を進めるとともに、第三者認証制度の普及促進やワクチン・検査パッケージ制度の円滑な運用等に向け、取組を進める。
- 3回目接種は、2回目接種から原則8か月以上経過した18歳以上の方を対象に、来月から順次開始される。円滑なワクチン供給など、市町村への支援等に取り組む。

感染状況(新規感染者数と感染経路不明割合)(全道)

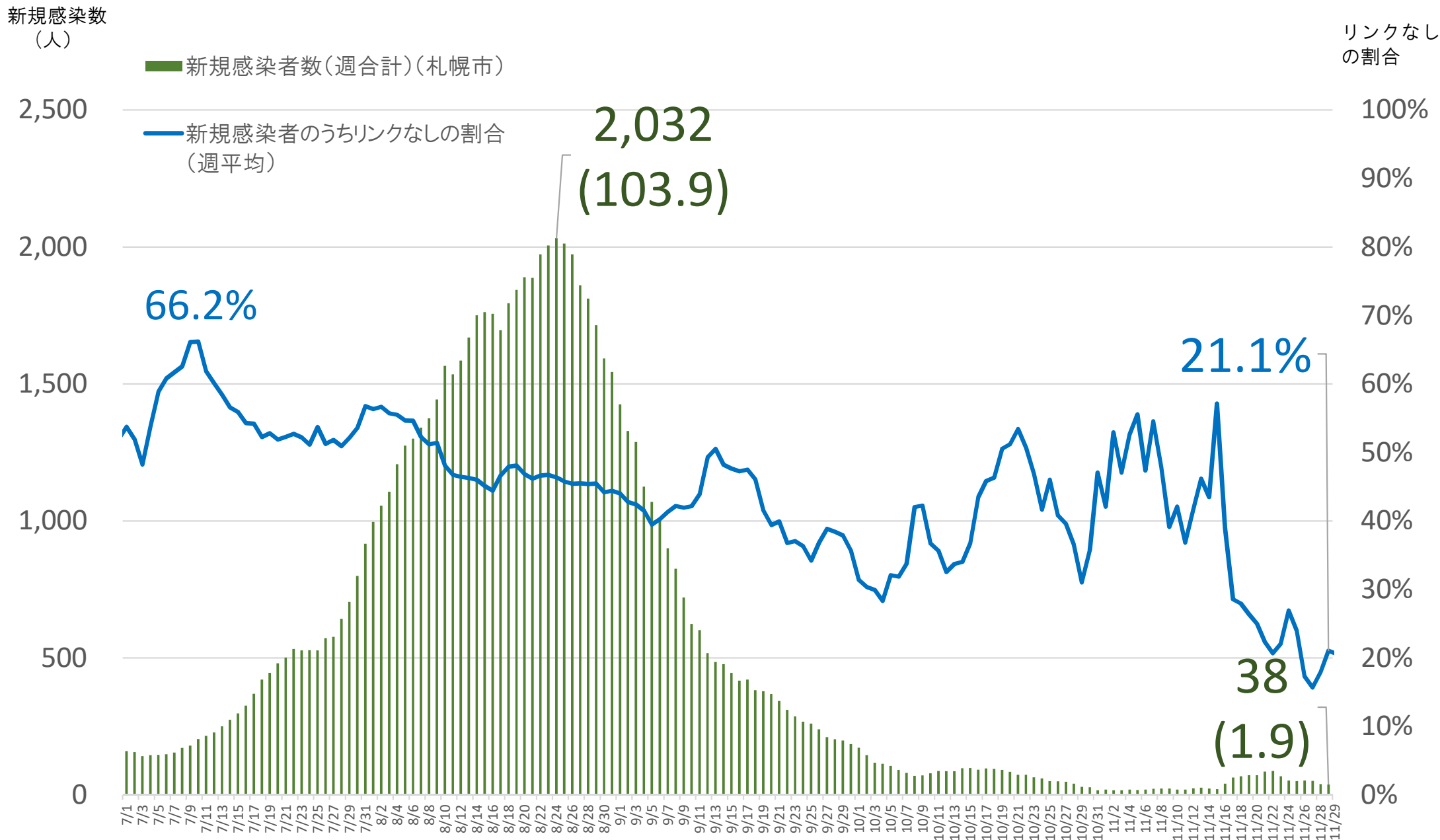
新規感染数(人)

リンクなしの割合

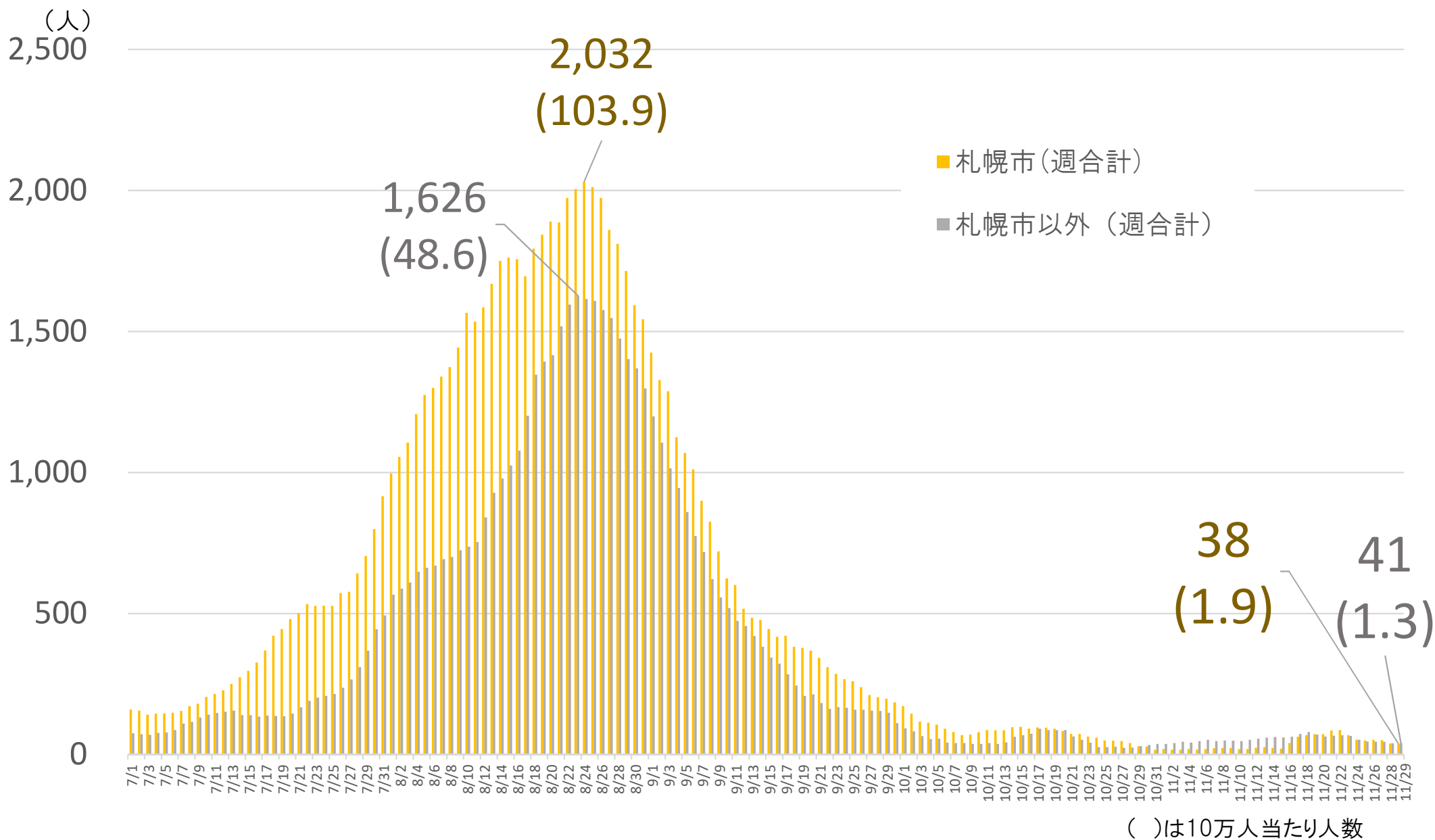


()は10万人当たり人数

札幌市の感染状況

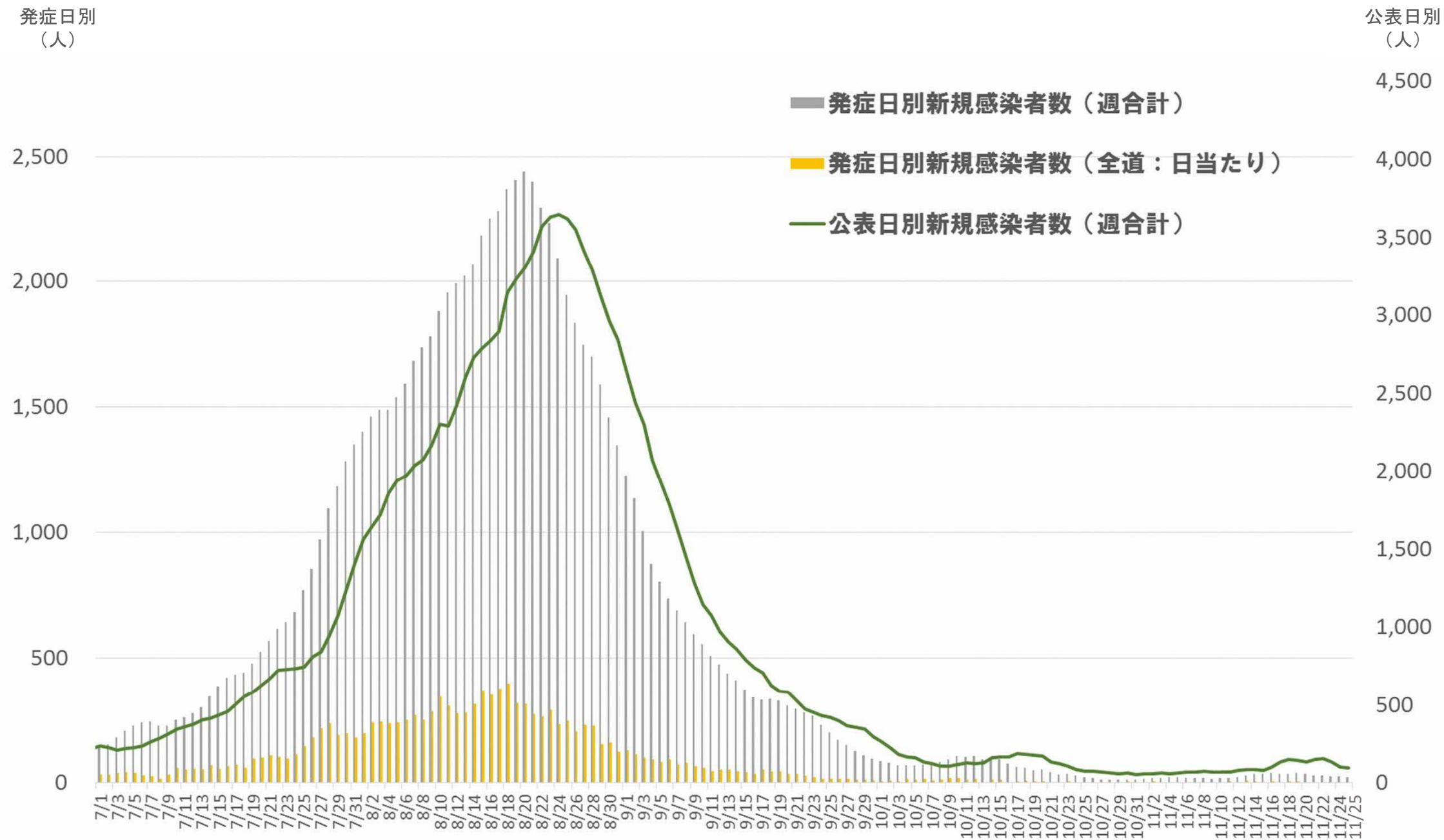


新規感染者数(札幌市／札幌市以外)



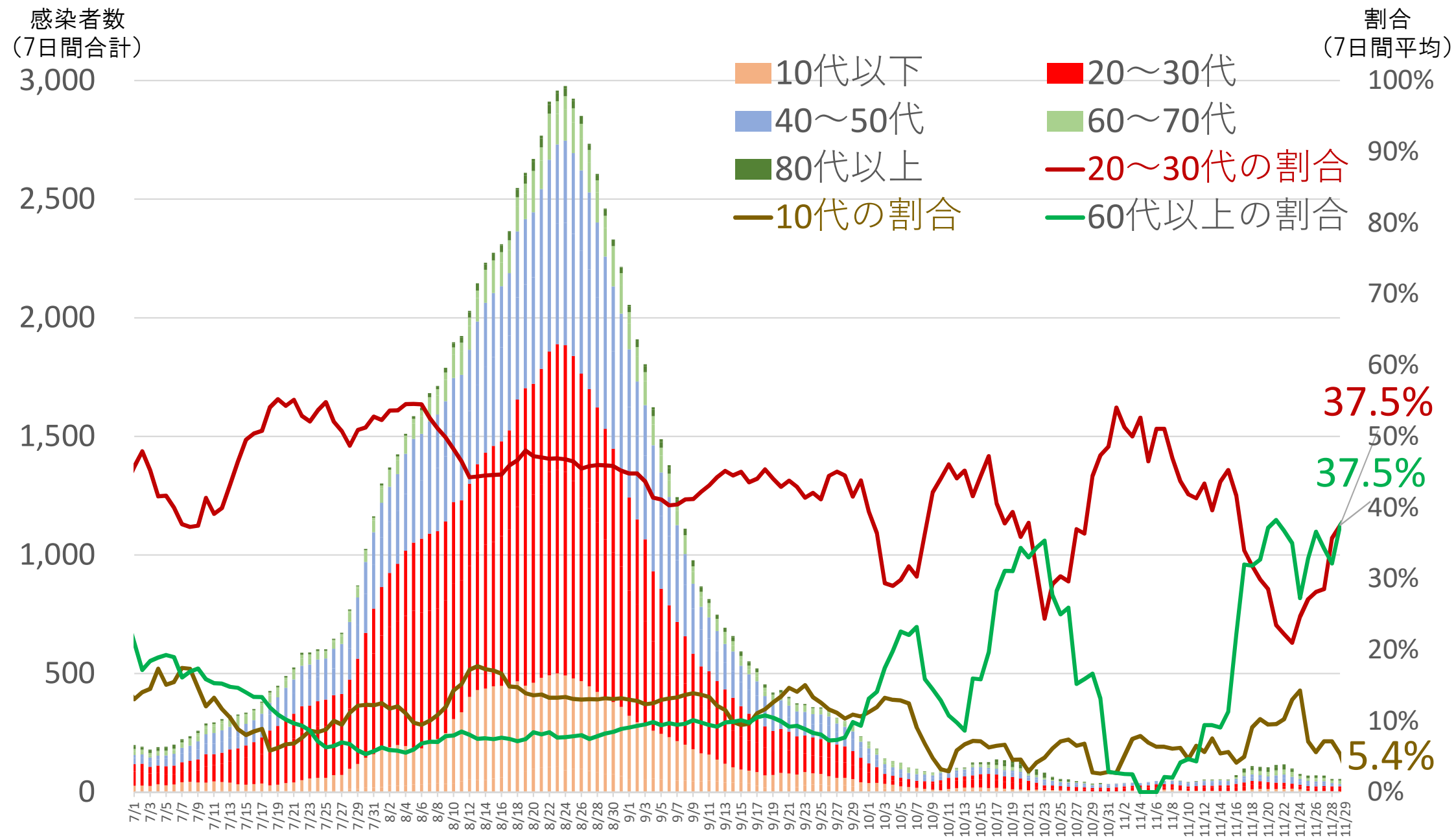
※7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者並びに札幌市以外が札幌市居住として発表した者及び居住地を「その他」として発表した者のうち札幌市居住である者を含む。

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
 ※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数の推移(全道)

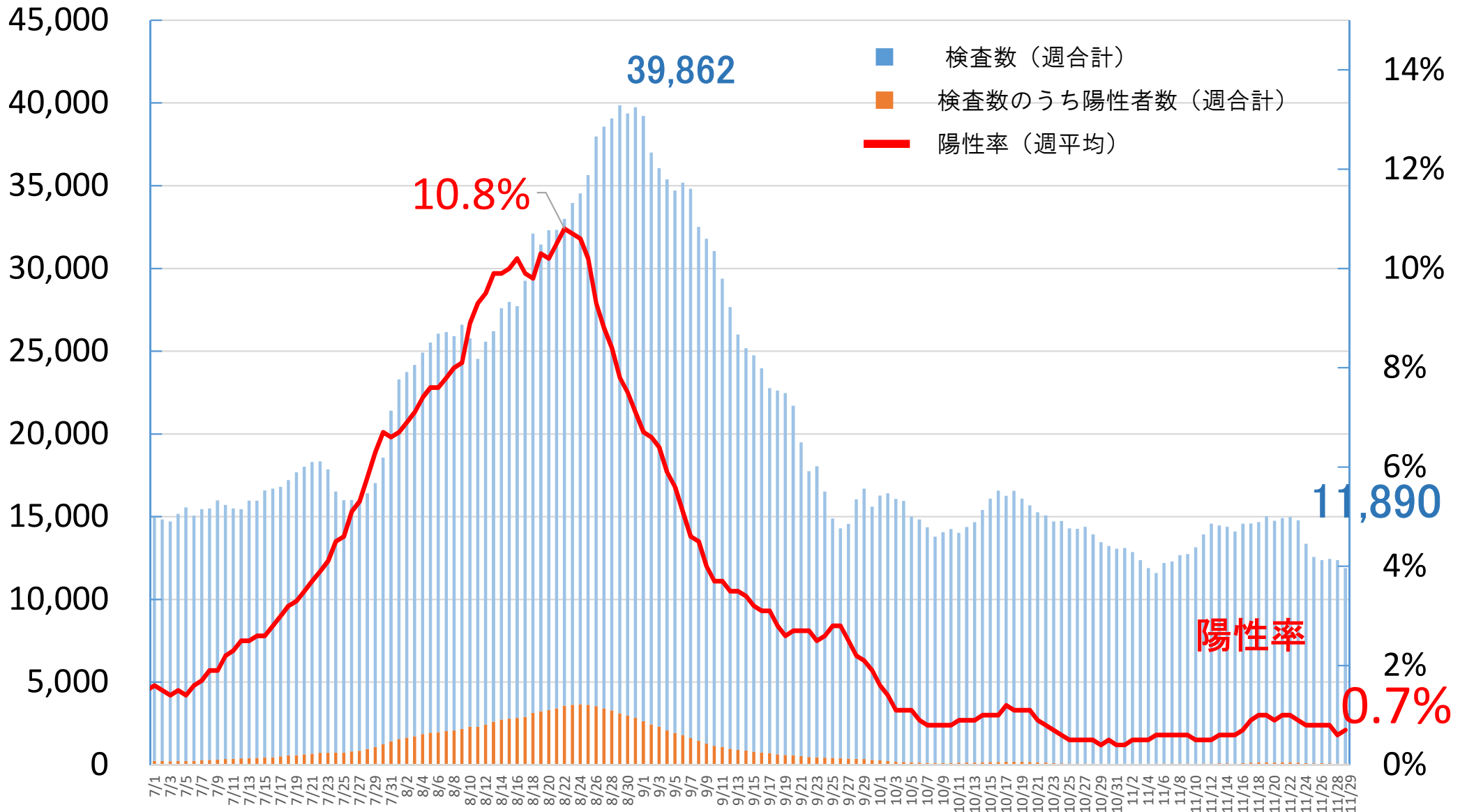


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

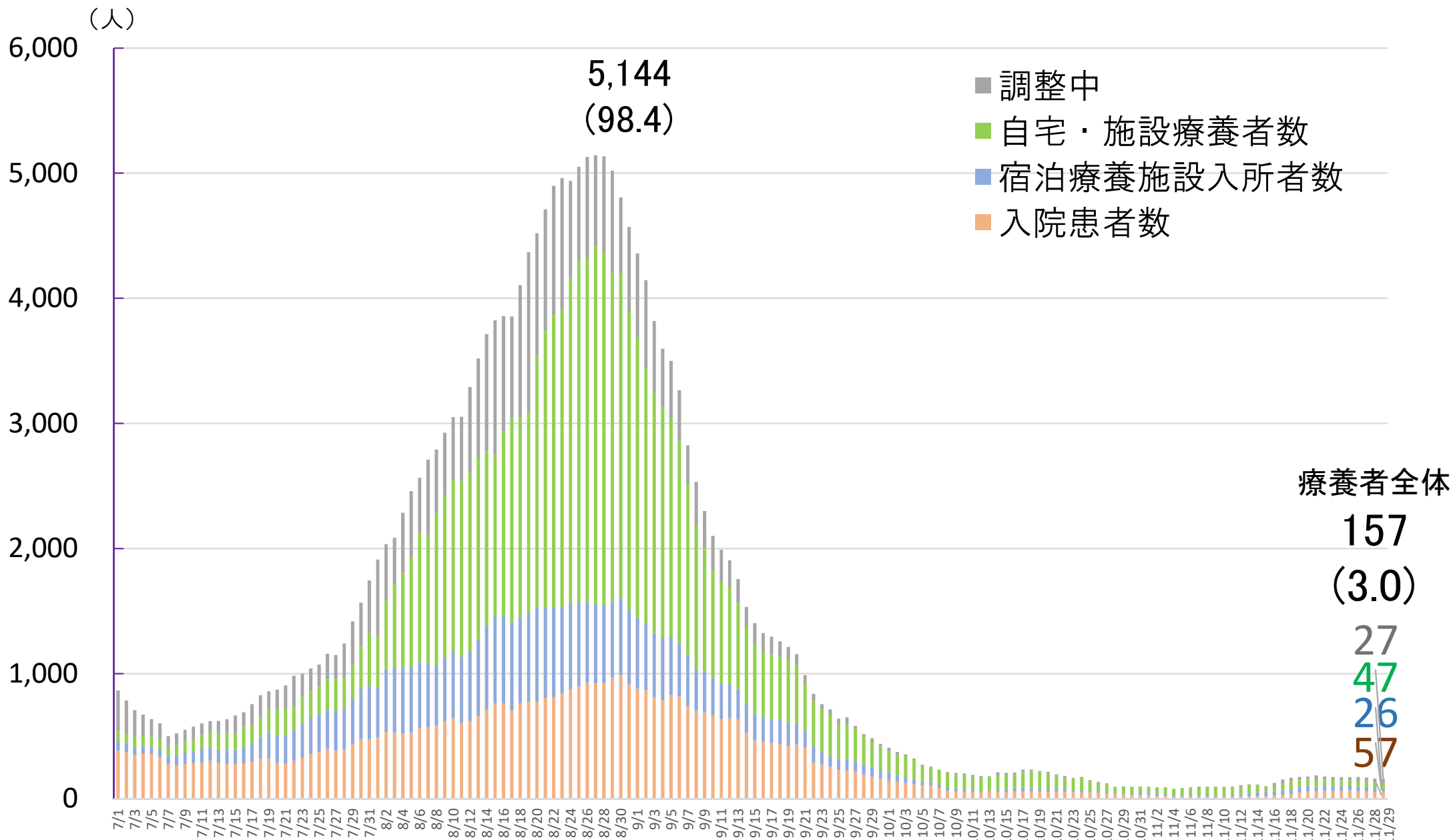
感染状況(陽性率と検査数)(全道)

検査数 (人)

陽性率



医療提供体制等の負荷(療養者全体)(全道)

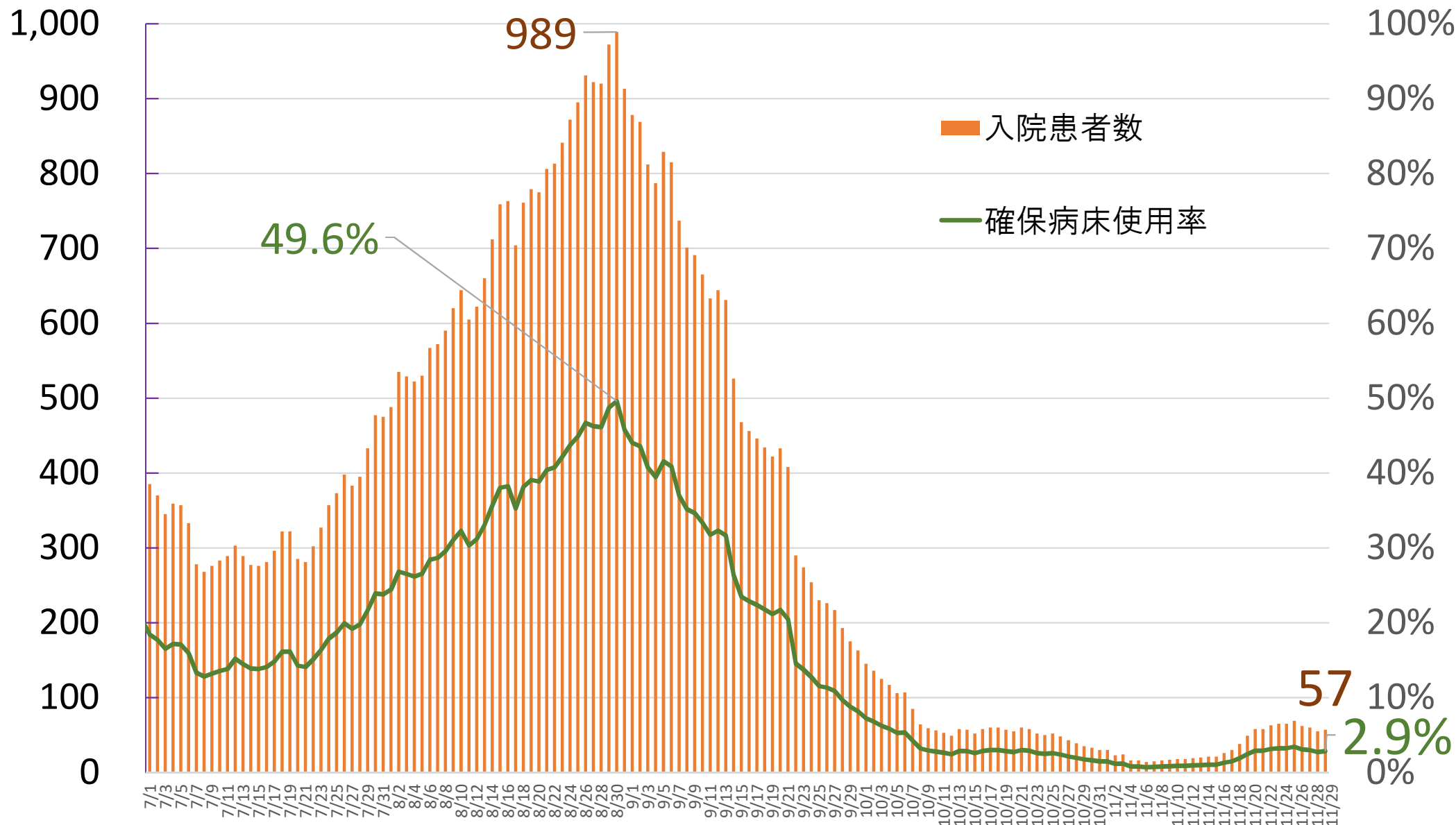


※「調整中」は、入院、宿泊療養、自宅療養、施設療養といった対応を調整している人数で、翌日以降、入院や宿泊療養などの対応が確定するもの。
 ※()は10万人あたり療養者数

医療提供体制等の負荷(病床全体)(全道)

入院患者数 (人)

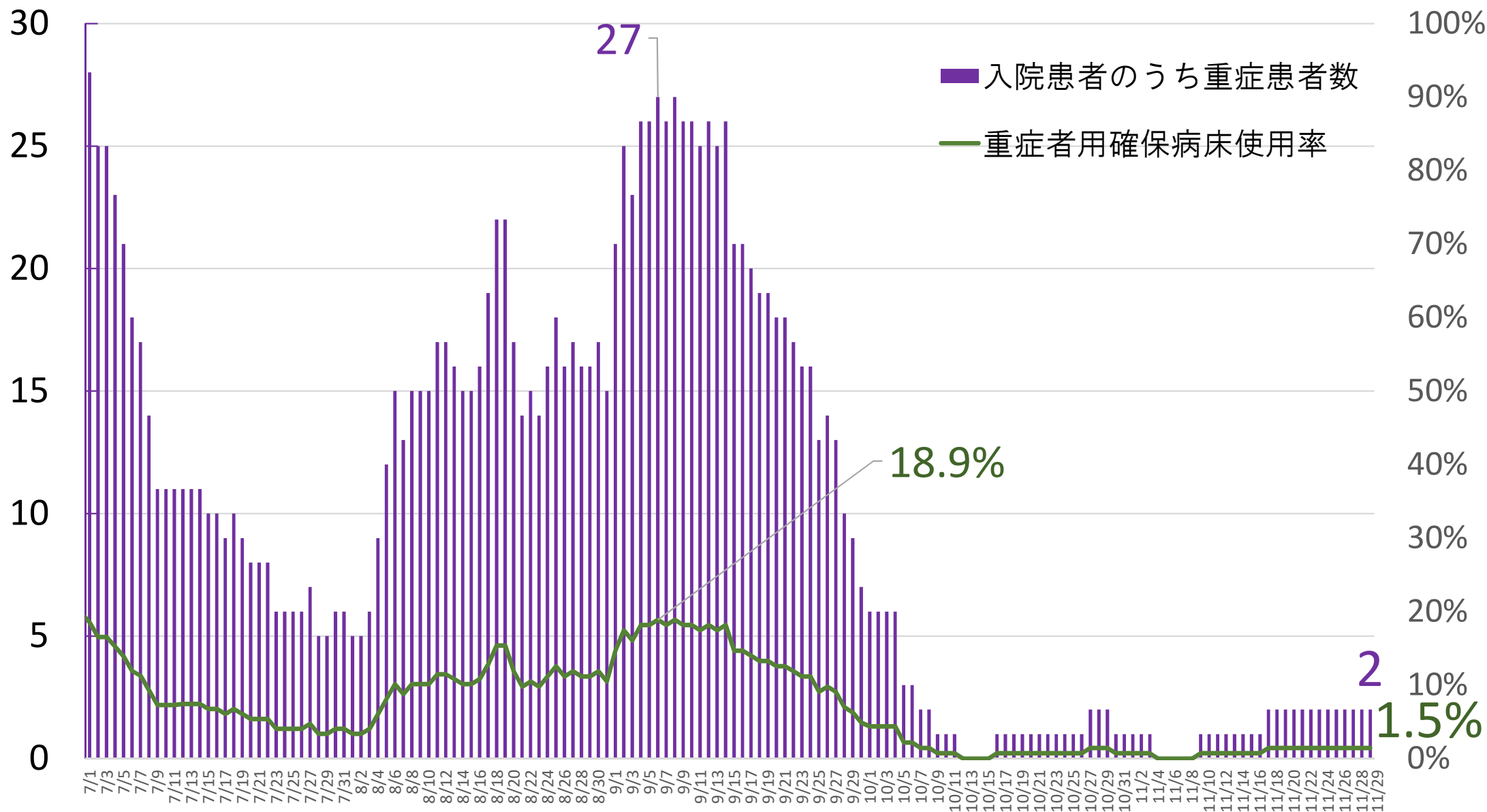
病床使用率



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)

入院患者数 (人)

病床使用率



集団感染の発生状況(全道)

	7月	8月	9月	10月	11月 (11/1~29)
医療施設 福祉施設	5件 (55人)	29件 (337人)	15件 (125人)	3件 (91人)	2件 (75人)
事業所等	18件 (142人)	52件 (535人)	26件 (202人)	3件 (28人)	—
飲食店等	11件 (80人)	31件 (274人)	5件 (34人)	4件 (46人)	3件 (21人)
学校	9件 (147人)	20件 (415人)	16件 (121人)	—	1件 (9人)
合 計	43件 (424人)	132件 (1561人)	62件 (482人)	10件 (165人)	6件 (105人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(札幌市／札幌市以外)

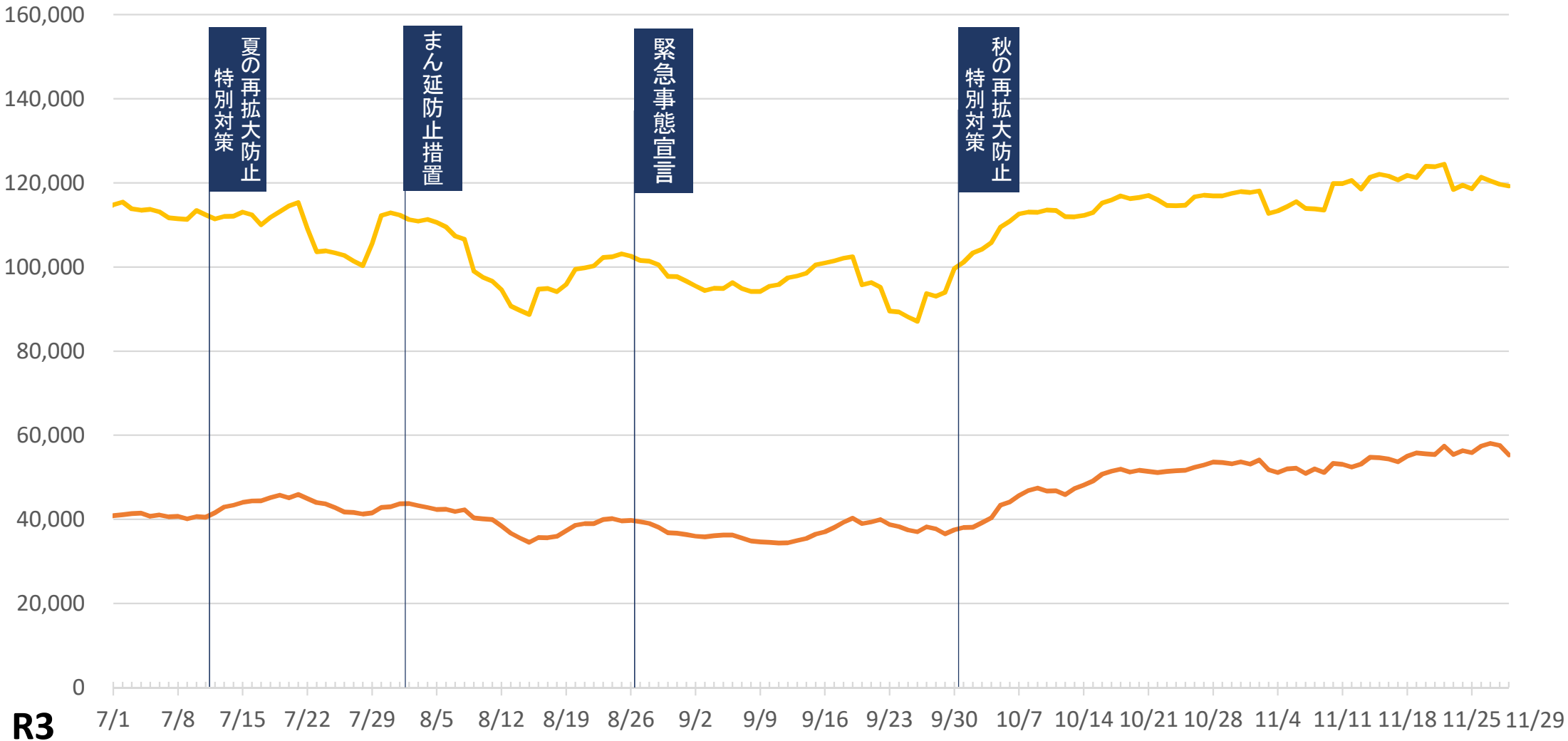
	11/9~15		11/16~22		11/23~29	
	札幌市	札幌市以外	札幌市	札幌市以外	札幌市	札幌市以外
医療施設 福祉施設	—	1件 (9人)	1件 (66人)	—	—	—
事業所等	—	—	—	—	—	—
飲食店等	—	1件 (6人)	—	—	—	—
学校	—	—	—	1件 (9人)	—	—
合 計	—	2件 (15人)	1件 (66人)	1件 (9人)	—	—

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

札幌市の人出(札幌駅周辺)

— 札幌駅 (15時、7日間移動平均)
— 札幌駅 (21時、7日間移動平均)

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



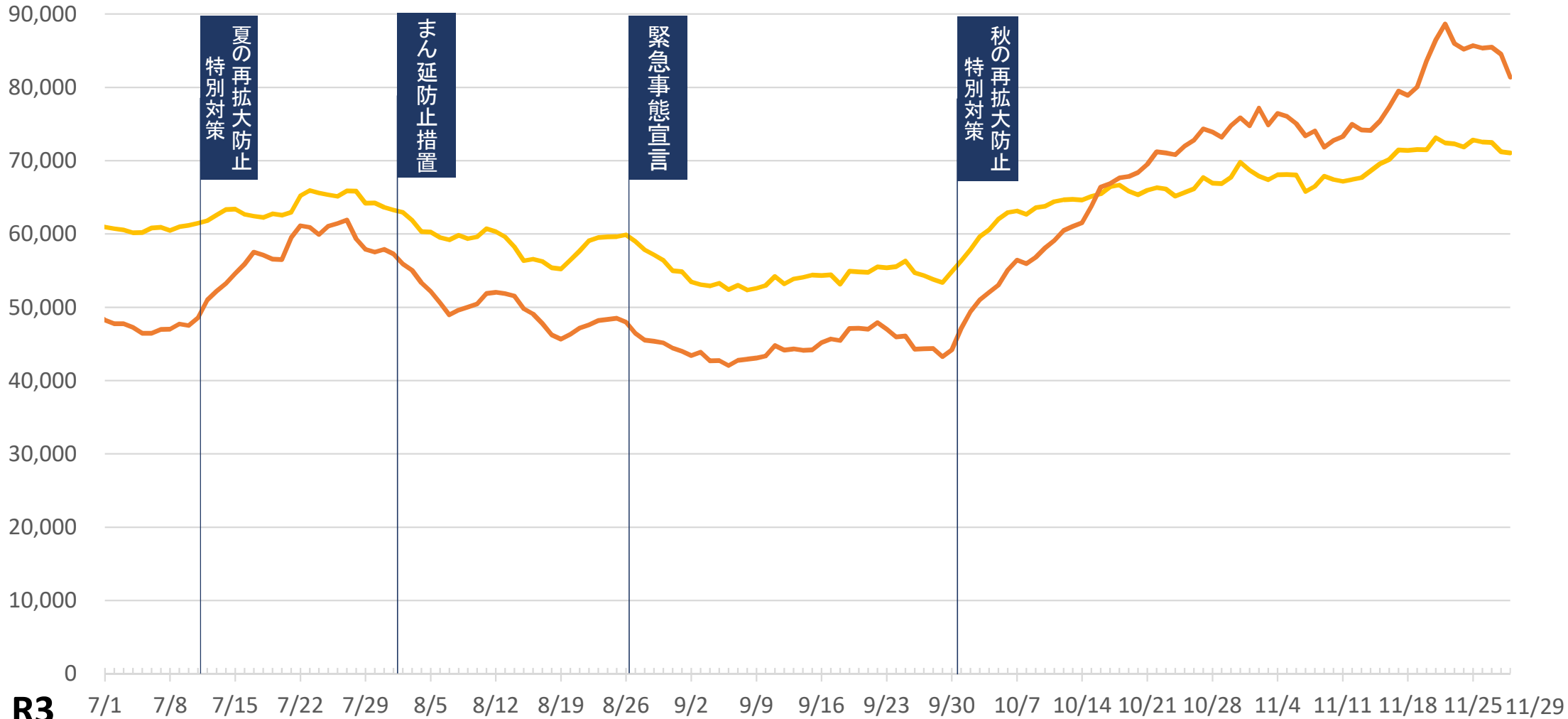
① 秋の再拡大防止特別対策前との比較(人)			
	R3.9.30	R3.11.29	(9/30比)
15時	99,674	119,604	(+20.0%)
21時	37,502	56,569	(+50.8%)

② 重点地域終了前との比較(人)			
	R3.10.14	R3.11.29	(10/14比)
15時	112,252	119,604	(+6.5%)
21時	48,128	56,569	(+17.5%)

札幌市の人出(すすきの駅周辺)

— すすきの駅 (15時、7日間移動平均)
 — すすきの駅 (21時、7日間移動平均)

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



R3

① 秋の再拡大防止特別対策前との比較(人)			
	R3.9.30	R3.11.29	(9/30比)
15時	54,847	72,036	(+31.3%)
21時	44,192	84,799	(+91.9%)

② 重点地域終了前との比較(人)			
	R3.10.14	R3.11.29	(10/14比)
15時	64,622	72,036	(+11.5%)
21時	61,514	84,799	(+37.9%)

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況について(医療従事者等分を含む。11/28現在)

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,127,210	78.9%	4,003,938	76.6%
(参考) 全国	99,206,063	78.3%	96,883,143	76.5%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種者数は首相官邸HPによる)。
なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力 of 職域接種分は含まない)、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。11/28現在)

区分	道内の接種 対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率		(参考) 全国の接種率 (11/28現在)	
		1回目	2回目	1回目	2回目
12～19歳	344,205 (6.6%)	71.6%	64.9%	74.3%	70.6%
20～29歳	461,395 (8.8%)	74.7%	71.5%	75.3%	72.9%
30～39歳	545,877 (10.4%)	77.0%	74.5%	77.1%	75.2%
40～49歳	733,566 (14.0%)	82.1%	80.4%	82.1%	80.7%
50～59歳	697,270 (13.3%)	88.4%	87.1%	89.2%	88.1%
60～64歳	338,612 (6.5%)	90.0%	89.1%	89.8%	89.1%
65歳以上	1,668,858 (31.9%)	93.5%	92.9%	93.3%	92.8%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

3 道内人口区分別接種状況(医療従事者等分を含む。11/28現在)

人口区分(市町村別)	市町村数	人口(人)	接種率(全年代)	
			1回目	2回目
100万人以上	1	1,961,575	76.8%	73.9%
20万人以上	2	583,288	78.5%	75.6%
10万人以上	6	849,242	79.2%	76.7%
3万人以上	13	722,259	79.3%	77.4%
1万人以上	33	578,442	81.8%	80.3%
5千人以上	39	272,482	83.0%	81.6%
3千人以上	41	165,341	83.5%	82.3%
3千人未満	44	96,103	84.5%	83.4%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種者数は首相官邸HPによる)。

なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種分は含まない)、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 追加(3回目)接種について①

- 追加(3回目)接種については、明日12月1日(水)から順次開始。12月に接種対象となる方(今年4月までに接種を終えた、約5万4千人)から接種が受けられる。道としても、円滑な実施に向け、市町村と連携し取り組む。

区 分	内 容
目 的	新型コロナウイルスワクチンを接種したすべての者において感染予防効果が経時的に低下すること、また、高齢者においては重症化予防効果についても経時的に低下する可能性を示唆する報告があること等を踏まえ、感染拡大防止及び重症化予防の観点から実施。 ※1回目・2回目接種が完了していない方への接種機会も継続して提供。
対 象 者	18歳以上の2回目接種完了者 ※重症化リスクの高い方、職業上の理由等によりウイルス曝露リスクの高い方などについては特に推奨。
使用するワクチン	1回目・2回目接種に用いたワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチンを使用 ※当面は薬事承認されているファイザー社製ワクチンを使用。モデルナ社製ワクチンの使用は、薬事審査の結果を待ってあらためて議論。
2回目接種完了からの接種間隔	2回目接種完了から原則 8か月以上 ※地域の感染状況、クラスターの発生状況など非常に特殊な状況の場合には、事前に厚労省と相談した上で、6か月以上で接種した場合も予防接種法に基づく接種の扱いは変えない。
実 施 期 間	R3.12.1～R4.9.30
接 種 券	原則接種券の持参が必要であるが、勤務先の医療機関等での接種日までに接種券が届かなかった場合などには、例外的に接種券なしでの接種が可能。
そ の 他	職域接種については、1・2回目を実施した企業・大学等のうち、実施を希望する場合には、R4年3月から追加接種を開始予定。12/13(月)から実施申込受付開始。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 追加(3回目)接種について②

【2回目接種完了からの接種間隔について】

- 11/26付け国事務連絡により、2回目接種完了からの接種間隔について、感染拡大防止を図る観点から、初回接種完了から8か月以上の間隔をおかずに実施して差し支えない場合が整理。

区 分		内 容
対 象	対象機関	医療機関等(医療機関、高齢者施設等)においてクラスターが発生した場合の、当該医療機関等 同一の保健所管内の複数の医療機関等でクラスターが発生した場合の、当該医療機関等の所在する保健所管内の医療機関等
	対象範囲	入院患者、入所施設利用者、通所施設利用者及び当該医療機関等で業務に従事する者であって、感染拡大防止を図る観点から必要な範囲のもの
留意事項	接種計画	市町村が、①上記の対象に該当する根拠、②対象者の範囲、③対象者の見込み人数の情報を含む接種計画を策定し、事前に都道府県を通じて厚生労働省と相談
	ワクチン	既に配分されたワクチンを使用(接種時期の前倒しによる追加配分はされない)
	接種間隔	2回目接種完了から6か月以上

- 国では、今後の感染拡大に備え、「感染防止の観点から8か月を待たずして打つ範囲については、さらに検討」を行うとし、上記基準を見直す可能性に言及しており、引き続き情報収集等に努める。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

5 追加(3回目)接種に係るワクチンの供給状況等(単位:回)

[接種実績の数値はR3.11.4現在]

- ファイザー社製ワクチン3回目第2クール(2回目接種完了月)の道内市町村への配分(449箱、約53万回分)を11/29に決定。接種対象者数に応じ按分。
- 1月以降の配分については、モデルナ社製ワクチンの薬事承認の状況、ファイザー社製ワクチンの在庫状況等も踏まえ、今後別途整理。
- 接種間隔を8か月で進めた場合、R3年度内(～R4年3月)の対象者分のワクチンは、2月までの配分総数で確保されている。
- なお、4月以降の供給量は示されていないが、現時点においても、モデルナ社製ワクチンの供給量は、初回(1・2回目)接種で同社製ワクチンを接種した人数を既に上回っていることから、交互接種の実施を前提とした配分を行う必要がある。

	追加接種予定月 (2回目接種完了月)	R3.12月 (R3.3～4月)	R4.1月 (R3.5月)	R4.2月 (R3.6月)	R4.3月 (R3.7月)	R4.4月 (R3.8月)	R4.5月 (R3.9月)	R4.6月 (R3.10月)	合計
道内2回目接種実績	ファイザー	54,249	93,831	619,543	868,141	521,271	497,281	362,341	3,016,657
	モデルナ	0	0	111	39,883	214,274	175,553	232,111	661,932
	アストラゼネカ	0	0	0	0	0	8	11	19
	合計	54,249	93,831	619,654	908,024	735,545	672,842	594,463	3,678,608
	累計	54,249	148,080	767,734	1,675,758	2,411,303	3,084,145	3,678,608	3,678,608
道への3回目配分	ファイザー	①133,380 ②525,330	①は11月 配送済	③332,280					990,990
	モデルナ	②今回配分 を決定	①718,800						718,800
	合計	658,710	718,800	332,280					1,709,790
	累計	658,710	1,377,510	1,709,790					1,709,790

4月以降に用いるワクチンの配分スケジュール・供給量については、現時点で国から示されておらず、不明。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

6 その他一般接種等について

- 追加(3回目)接種開始後も、新たに接種対象年齢となる方も含め、接種を希望される方については、来年9月30日まで初回(1・2回目)接種が引き続き可能。
今後とも、希望される方が円滑に接種を受けられるよう、市町村とも連携し取り組む。
- アストラゼネカ社製ワクチンについて、9月11日から道内における接種を開始し、これまでの接種実績は計772回。
- 一般向け接種の進展に伴い、特に若年層のワクチン接種率の向上に資するよう、チラシの作成・配布、WEB広告など、ワクチンへの正しい理解の促進や非接種者への差別防止等に関する広報・周知等を実施。
併せて、ワクチン2回接種後であっても、引き続き基本的な感染防止行動の実践が必要である点についての普及啓発を実施。
- インフルエンザワクチンの接種も本格化している中、新型コロナウイルスワクチンとそれ以外のワクチンの同時接種はできないこと、他のワクチンと互いに2週間の間隔を取っていただく必要があること等について、道のホームページ、SNSで注意喚起を実施。

<参考>北海道新型コロナウイルス情報twitter

<https://mobile.twitter.com/hokkaidovaccine>

